

陝西海燕焦化集団 24MW コークス炉ガス発電プロジェクト概要

- (1) 日本国内実施主体の名称
日本テピア株式会社
CDM プロジェクトとしての案件形成・開発、日本政府承認・国連登録申請手続と排出権購入。
国連 CDM-EB との公式なコミュニケーションにおいては、フォーカルポイント。
- (2) ホスト国
中国
- (3) プロジェクト概要
本プロジェクトは、コークス炉にボイラ及び蒸気タービン、発電機を導入することで、コークス生産過程で発生したコークス炉ガス(COG)を回収して発電し、グリッドに送電することにより、化石燃料中心の電源を代替することを目的としたものである。
年間 163,800MWh の電力を代替することにより、年間平均 143,653tCO₂e の二酸化炭素削減を見込んでいる。
- (4) ホスト国のプロジェクト参加者
陝西海燕焦化(集団)有限責任公司
(Shaanxi Haiyan Coke Making (Group) Co., Ltd.)
コークス炉ガス発電の事業調査、PDD 作成用データ提出、中国政府承認申請手続、発電プラントの建設、運転・維持管理業務およびグリッドへの電力販売、事業開始後のモニタリング、排出権販売
- (5) CO₂排出削減量
143,653トンCO₂/年
- (6) クレジット獲得期間
2009年7月から3.5年間
- (7) クレジット配分
2012年までに502,785.5トンを取得予定
(日本国政府に優先交渉権あり)
- (8) ホスト国承認
承認済(2009年2月18日)
- (9) 総投資額
1億605万元
- (10) 方法論
ACM0004(バージョン2)“廃ガス・廃熱・廃圧に基づくエネルギーシステムにかかる GHG 排出削減のための統合方法論”を適用

シンガポールにおける下水汚泥の乾燥・焼却事業概要

(1) 日本国内実施主体の名称

①株式会社三井住友銀行

プロジェクト情報の収集、クレジットの仲介・買取を行う。

②鹿島建設株式会社

プロジェクト情報の収集、PDDの作成、CDMに関する手続を行う。

(2) ホスト国

シンガポール

(3) プロジェクト概要

本プロジェクトは、現在、埋立処分場に投棄された下水汚泥が嫌気性分解することによりメタンガスが発生しているところ、この下水汚泥を全量焼却することによりメタンガスの発生をゼロにしようとするものである。

(4) ホスト国のプロジェクト参加者

エコ スペシャル ウェイスト マネージメント(以下エコ社)

(ECO Special Waste Management Pte. Ltd.)

プロジェクトサイトの建設、運転、管理、モニタリングの実施

(5) CO2排出削減量

104, 547トンCO2/年

(6) クレジット獲得期間

2009年4月から10年間

(7) クレジット配分

2019年までに1, 045, 473トンを取得予定

(日本国政府に優先交渉権あり)

(8) ホスト国承認

承認済(2009年4月8日)

(9) 総投資額

1億131万7千 SGD

(10) 方法論

AM0025(バージョン 11)“代替的廃棄物処理工程による有機廃棄物からの排出回避”を適用